

課題研究自己評価シート

評価日(/ 終了後) 組 番 氏名

定義の	「8の力」の定義と17の項目	評価の段階			
	身につけたい内容	4	3	2	1
問題	問題を発見する力	該当の分野全般において知識が充実している	該当の分野の先行研究については、知識が充実している	該当の分野に関して基礎知識はある	該当の分野の基礎知識が不十分
問題	「事実」と「意見・考察」を区別できる。(思考・判断)	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分を適格に区別して考えている	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分がほぼ区別できる	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分を区別できないことがある	他者の説明を聞いたり読んだりするとき「事実・出来事」と「意見・考察」の部分をほとんど区別できない
	「既知と課題の区別」自分にとっての「未知」(課題)を説明できる。(思考・判断)	「既知と課題の区別」ができて自分にとっての「未知」(課題)を説明でき、自己の具体的な課題ととらえることができる	「既知と課題の区別」ができて自分にとっての「未知」(課題)を説明できるが、自己の具体的な課題として設定することはできない	「既知と課題の区別」が曖昧なため自分にとっての「未知」(課題)を説明ができない	「既知と課題の区別」ができないため自分にとっての「未知」(課題)がなにかわかわらない
未知	未知の問題に挑戦する力	生じた課題や疑問を他者にメール等で尋ねたり、文献やネット等で調べたりして解決できる	生じた課題や疑問を自分で文献やネット等で調べたい解決できる	生じた課題や疑問を自分で文献やネット等で調べるが解決に至らないことが多い	生じた課題や疑問を自分で文献やネット等でも調べるのがほとんどない
	「計画性」問題点の関連から取り組む順序を考えることができる。(思考・判断)	実験や調査や課題に取り組むとき、しなければならないことの順番を決め、計画を書き記してから取り掛かる	実験や調査や課題に取り組むとき、しなければならないことの順番は決めるが、計画を書き記さず取り掛かる	実験や調査や課題に取り組むとき、直近にしなければならないことだけ考えて取り掛かる	実験や調査や課題に取り組むとき、何をしたいかわかわらず取り掛かれない
用知	知識を統合して活用する力	「関連性を見出し分類」データの構造化が(メモ・箇条書き・分類・図式化等によって)できる。(思考・判断/技能・表現)	データを一程度構造化ができる	データを構造化が十分にできない	データをうまく整理できない
	分析や考察のために、適切な道具(機器やソフトウェア)を使うことができる。(知識・理解/技能・表現)	分析や考察に適切な道具(機器やソフトウェア)を自ら見つけ出し適切に使うことができる	分析や考察に道具(機器やソフトウェア)を与えられれば使うことができる	分析や考察に(機器やソフトウェア)をほとんど使うことができない	分析や考察自体苦手である
力問題	問題を解決する力(まとめる力・理論的な背景)	「論理的な完全性の追求」学会等で通用する形式の論文を書くことができる。(思考・判断/技能・表現)	ある程度形式の整った論文を作成し、その中に適切なデータ等の示し方ができ、信頼性を担保できる	形式の整った論文を作成できずし、データ等の示し方も十分にできない	論文が作成できず、データ等を示すことがない
	問題解決に関する理論や方法論についての知識が多い。(知識・理解)	生じた問題を解決するため問題解決の手法(目的手段分析、クリティカルシンキング、PDS、PDCAなど)で問題を分析し解決できる	生じた問題を解決するため問題を分析することができ、解決しようとする	生じた問題を解決するため問題を十分に分析できないため、解決に至らない	生じた問題を解決するため問題を分析できず、解決しようしない
交流	交流する力	「積極的コミュニケーションをとることができる。(意欲・関心・態度/知識・理解)	発表会やレポートでは積極的に主体となって発表し、質問に対して積極的に説明する	発表会やレポートでは発表に加わり、質問に対して問われたら説明する	発表会やレポートに関心がなく、参加のしようと思わない
	発表会や協同学習・協同作業の場において、「責任」と「義務」が自覚できる。(意欲・関心・態度)	グループ活動では、リーダーとして役割分担を行ったり、中心的な役割を受け持つことができる	グループ活動では、役割が決まれば責任をもって取り組むことができる	グループ活動では、与えられた役割を果たすことができないこともある	グループ活動では、役割からのがれるか役割を果たさないことが多い
発表	発表する力	「準備時」発表のために、必要な情報が抽出・整理された資料を作ることができる。(思考・判断/知識・理解/技能・表現)	あらかじめ整えた資料から抽出・整理して発表資料を作るが不十分であったり適切な分量でなかったりすることがある	資料から抽出・整理して発表資料を作るのが苦手である	発表資料を作ったことがない
	「発表時」発表の効果を高める工夫ができる。(技能・表現)	発表の効果を高める工夫(メモを見ない、ジェスチャーを交える、語りかける、聞き手に応じてわかりやすく説明する等)が十分できる	聞き手に応じて発表の効果を高める工夫がある程度できる	発表の効果を高める工夫を行おうとしているが十分でなく、メモを見ないと発表できない	発表の効果を高める工夫ができない
質問	質問する力	疑問に思ふ内容を、質問を前提にまとめることができる。(思考・判断)	発表会等で聞き手として参加するとき、疑問に思ふ内容を、質問を前提にまとめることができる	発表会等で聞き手として参加するとき、疑問に思ふ内容があっても疑問に思ふ内容がない	発表会等で聞き手として参加するとき、疑問に思ふことがあまりない
	「伝えること」発言を求められることができる。(思考・判断/技能・表現)	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じたら積極的に質問し、議論しようとする	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じたら質問するが、解決できなくても追質問はしない	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じても声をかけられないと質問しない	発表会等で聞き手として参加するとき疑問が生じても、声をかけられても質問しない
議論	議論する力	「予測して調査・資料の作成」論点になりそうなの準備ができる。(思考・判断)	発表会での発表や質問に対して、質問される内容を予測し、十分な資料等を準備できる	発表会での発表や質問に対して、質問される内容を予測し、ある程度資料等を準備できる	発表会での発表や質問に対して、質問を予測できず、資料等も十分に準備できない
	発表や質問に対して議論を進めることができる。(思考・判断/知識・理解)	相手の発表や質問に対し客観的な根拠を示し回答する。また、議論がかみ合うように相手の反応に対応し、議論の継続に努力する	相手の発表や質問に対し回答できる。また、相手の言い分も聞き議論を進行できる	相手の発表や質問に対し回答できる。しかし、相手の言い分も聞き議論を進行できる	相手の発表や質問に対し回答できないことがある。また、相手とは議論ができない

評価できない項目は評価しない